

図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動（8月分）

（震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所の地震波形データを利用しています。）

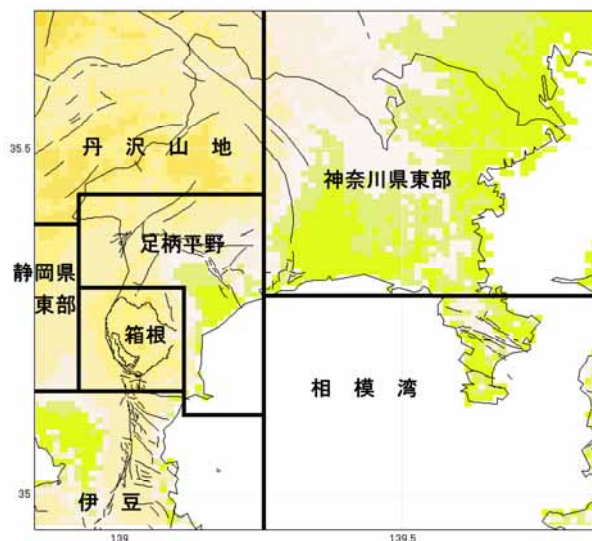


図2 表1に対応する地域区

4. 箱根火山の地震活動

本期間中、箱根火山では当所の定義（注1）による群発地震が3回観測された。箱根火山の群発地震は、2009年7月に箱根火山中央火口丘、台ヶ岳付近で観測されて以来であった。以下に活動の概要を示す。

活動期間 : 8月4日19時05分~8月7日12時39分 地震数 1300

最大地震 : 6日06時03分 M3.2

有感地震数 : 2回(気象庁報告)、

当所が大涌谷に独自に設置している計測震度計で観測された有感地震は8回。

震度1 : 4回(5日06時50分、6日01時16分、02時16分、06時05分)

震度2 : 4回(5日06時41分、08時59分、6日06時03分、11時37分)

活動期間 : 8月9日00時02分~8月10日03時51分 地震数 292

最大地震 : 9日07時30分 M1.8

有感地震数 : 0回(気象庁報告)、

当所が大涌谷に独自に設置している計測震度計で観測された有感地震は2回。

震度1 : 2回(9日06時13分、07時26分)

活動期間 : 8月11日06時56分~8月12日11時09分 地震数 89

最大地震 : 11日11時40分 M2.4

有感地震数 : 0回(気象庁報告)、

当所が大涌谷に独自に設置している計測震度計で観測された有感地震は2回。

震度2 : 11日11時40分、震度1 : 11日11時43分

、の震源域は、共に箱根火山・大涌谷の西側（姥子～温泉荘付近）で、震源の深さは浅く0km~3km程度であった。これらの群発期間中の最大地震は6日06時03分に発生したM3.2であった。この地震により、箱根町湯本、小田原市久野、南足柄市関本、山北町山北で震度1が観測された。

また、当所が箱根・大涌谷で独自に観測を行っている計測震度計では、5日から11日までに震度2が5回、震度1が7回、計12回観測された。

図3に震源分布、図4に1時間ごとの地震発生数を示す。

注1) 当所では、箱根火山における群発地震を「地震回数は1時間に10回以上、活動期間は前後3時間以上地震なしで区切る」と定義している。

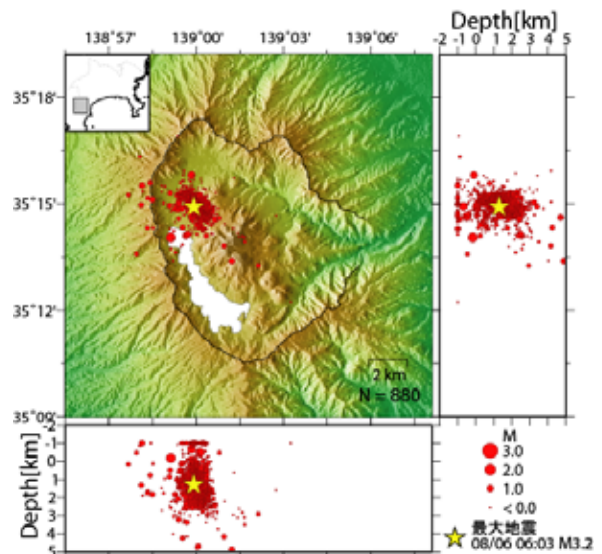


図3 震源分布図(8月4日~11日)

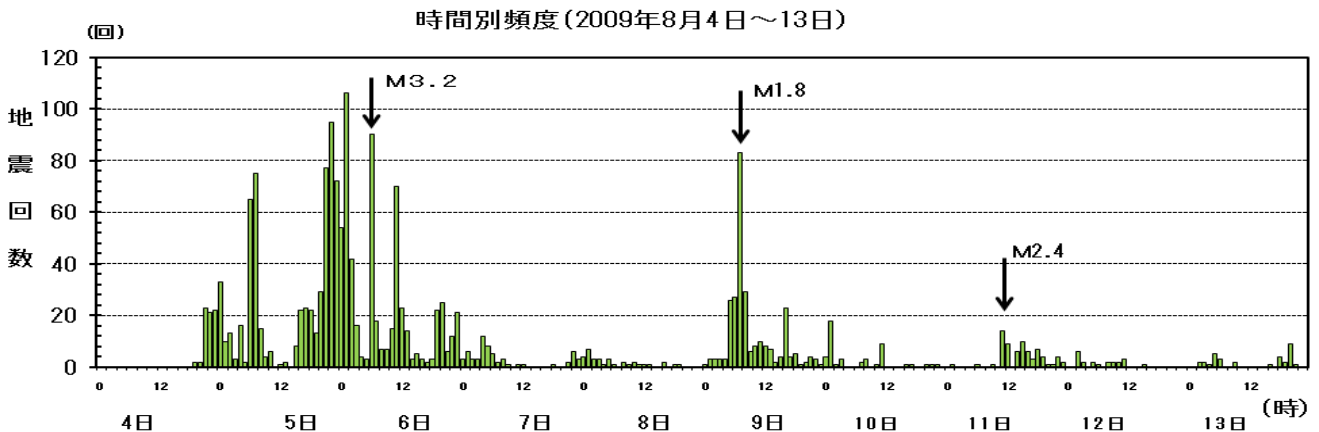
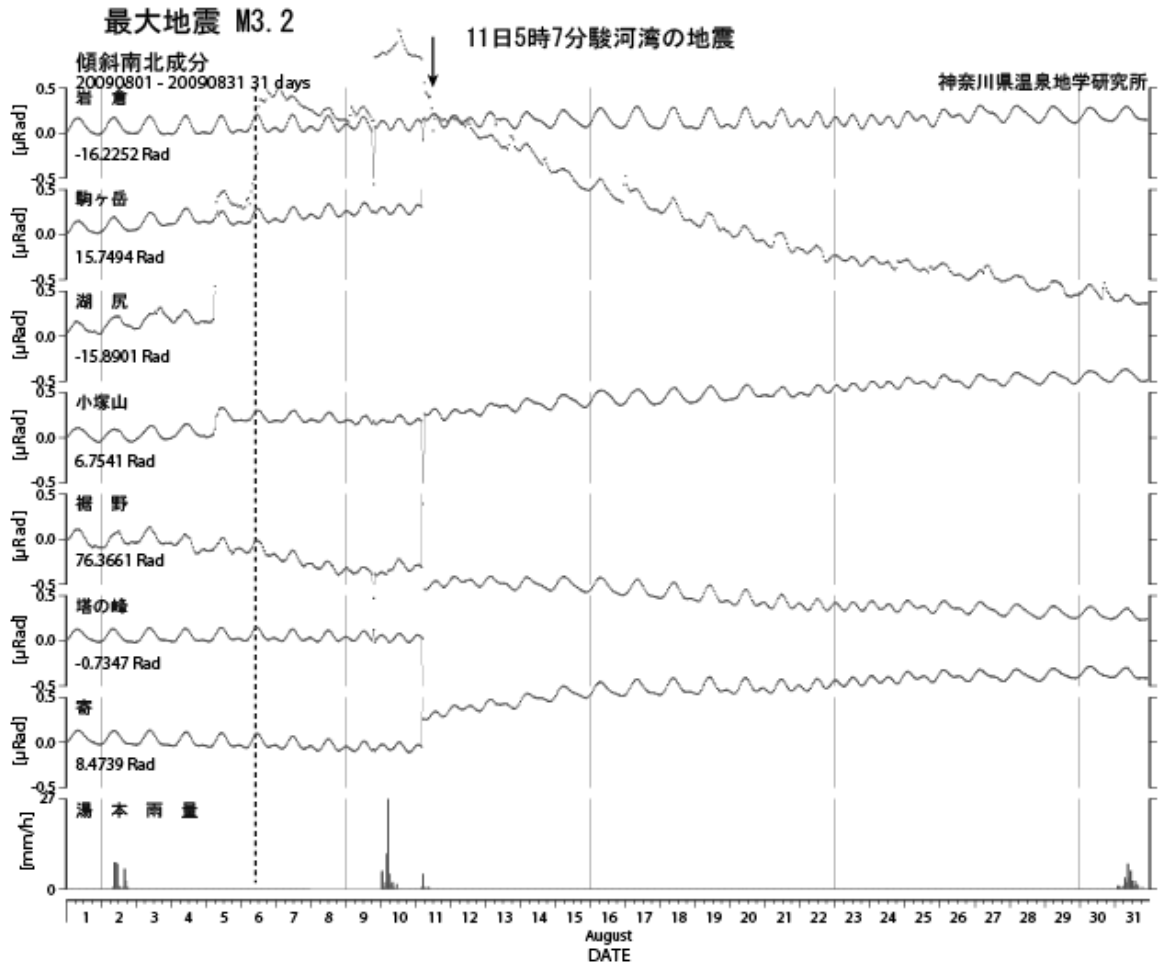
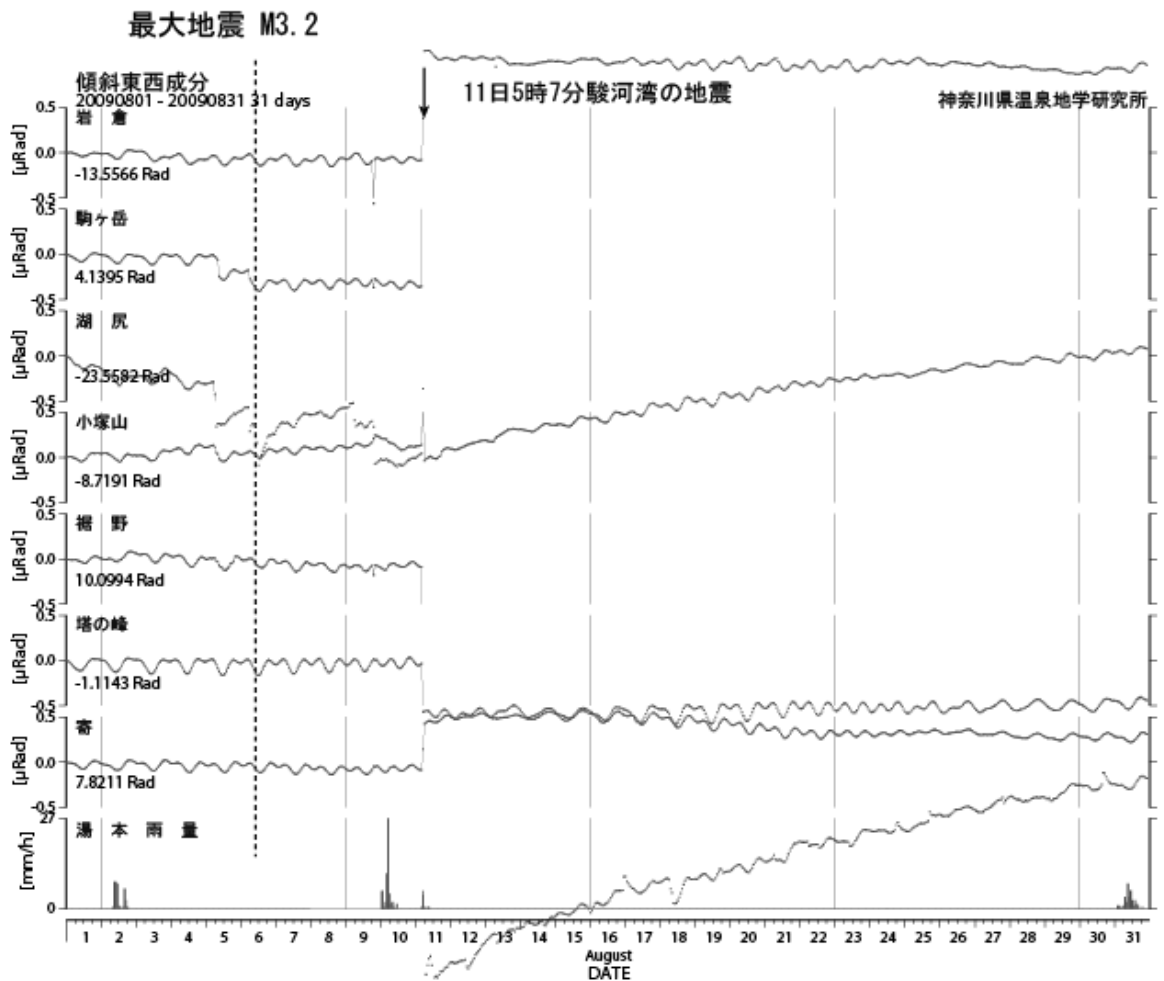


図4 1時間ごとの地震発生数(8月4日~8月13日)

南下がり



西下がり



最大地震[1] 09年08月06日06時03分 深さ1.3 km M3.2 (箱根)

図5 傾斜記録 (2009年8月1日から8月31日) 上: 南北成分 下: 東西成分

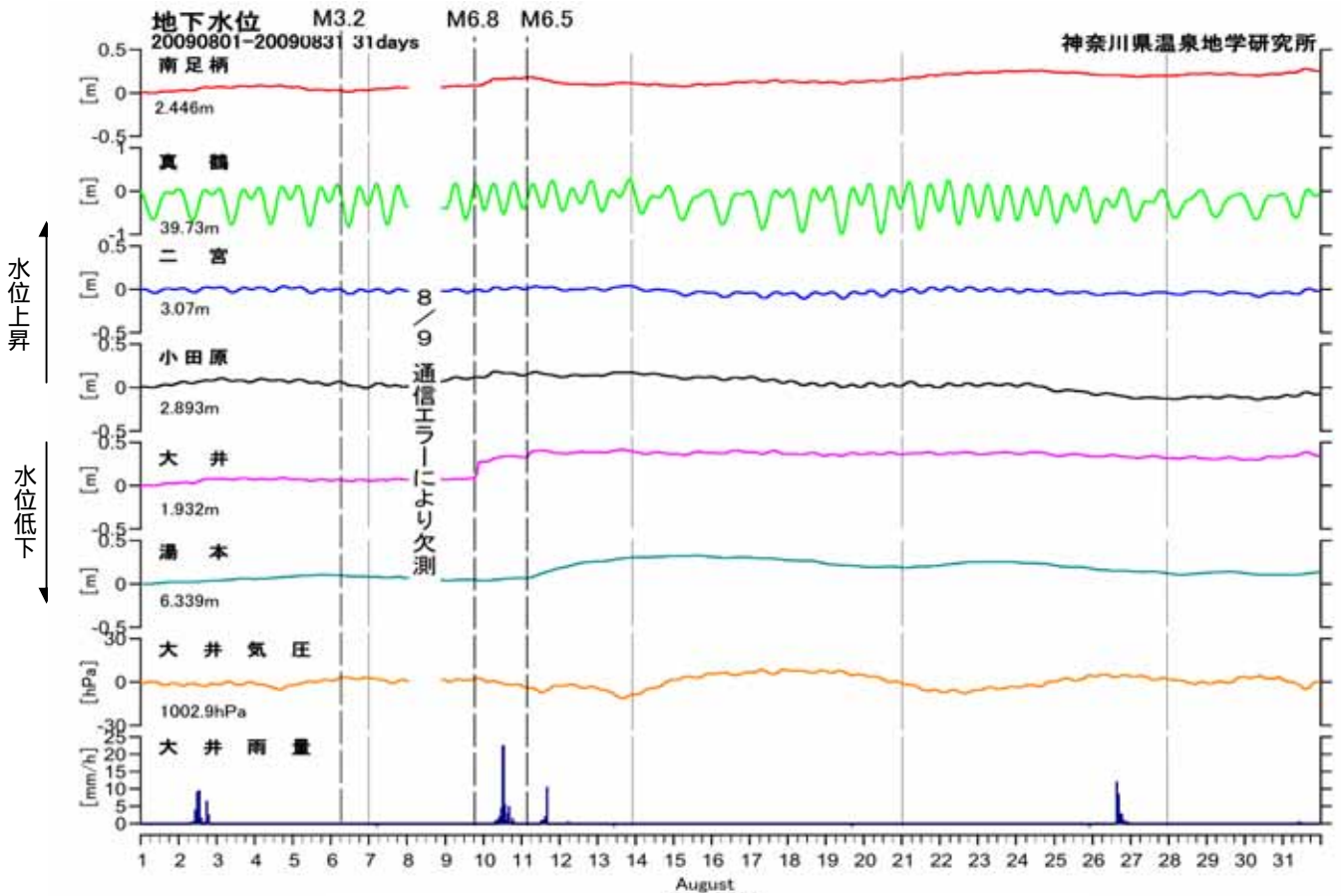


図6 地下水位観測結果(2009年8月)

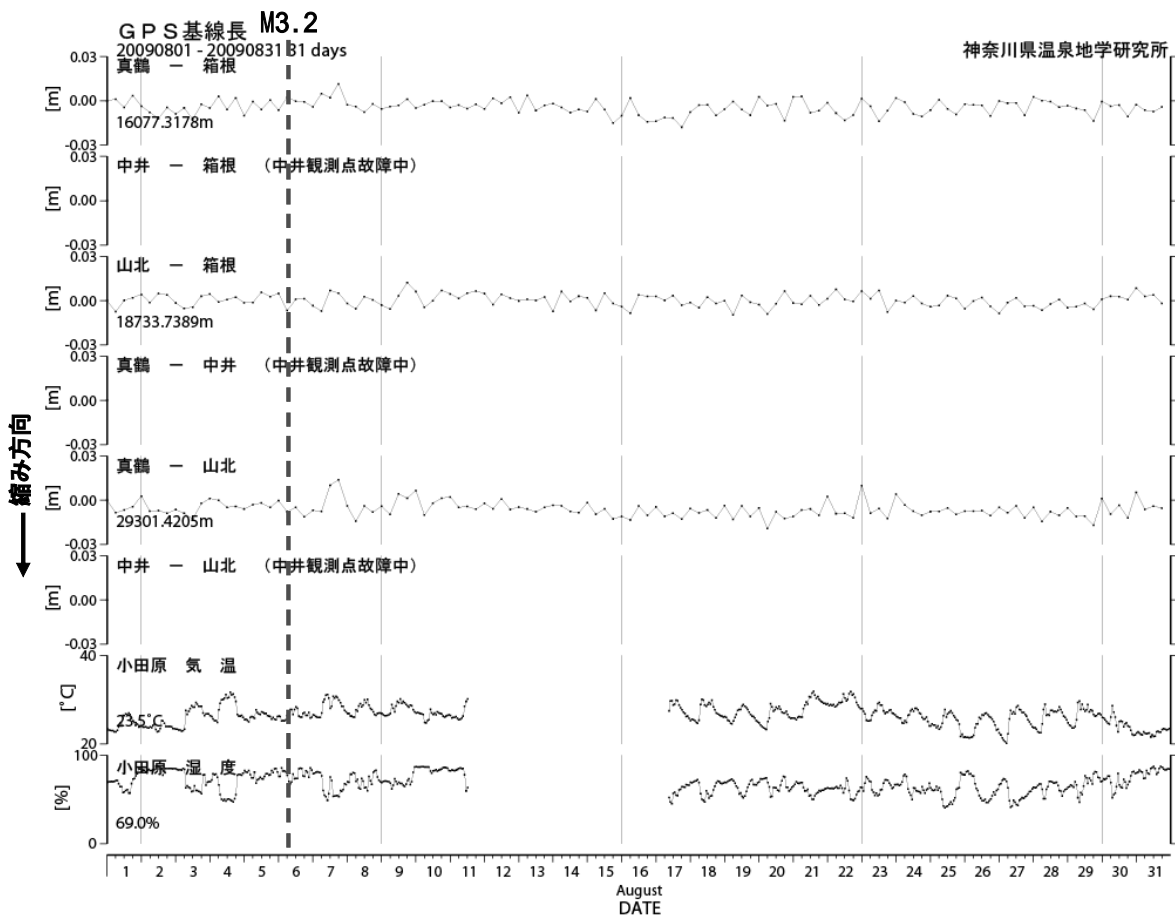


図7 GPS測量観測結果(2009年8月)

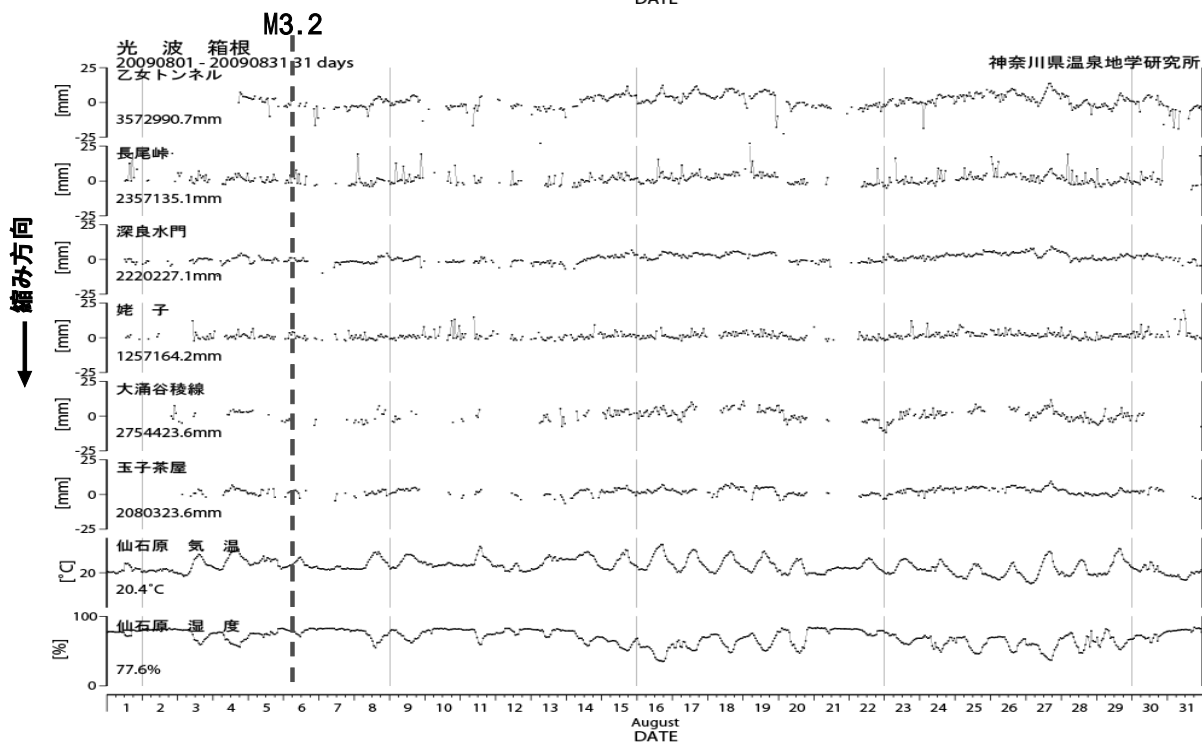
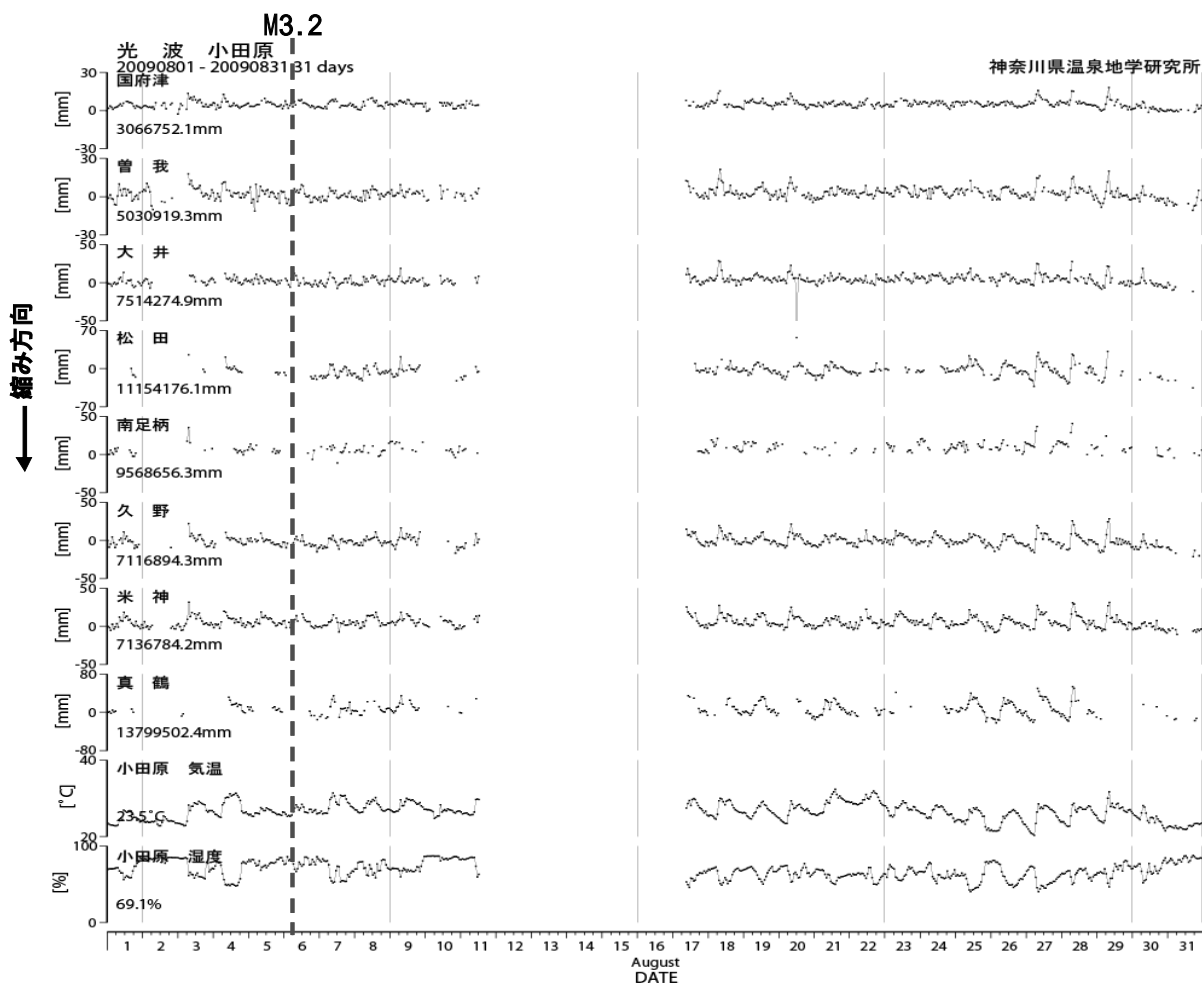


図8 光波測量観測結果 (2009年8月)

上: 小田原観測網、下: 箱根観測網